

□ はじめに

本財団は、創立者 岡田茂吉の思想哲学に基づき、世界的な美術思想の涵養を通じて、人間の品性の向上及び平和愛好思想の醸成を図ることにより、高度の文化的芸術国家の建設に寄与することを目的とし、美術品等の収集・保存・展示・公開、美術に関する調査研究・国際交流、美術教育、芸術家養成、学術・技芸の教授・普及などの日本文化の普及昂揚に関する事業を行う。

さらに、本年度は、公益財団法人初年度として、より地域に開かれた「新しい公共性」の美術館をめざし、事業を力強く推進するために、新たな体制のなかで幅広い意見も吸収し、業務体制の見直しなど経営基盤の拡充に取り組む。

I. 美術館運営事業

1. 企画展の開催

MOA美術館及び箱根美術館を、年間300日以上開館運営し、尾形光琳筆国宝「紅白梅図屏風」をはじめ、所蔵する日本及び東洋の美術品をテーマに沿って展示すると共に、他館との協力のもと優れた美術品を一堂に集めた企画展を開催する。

(1) MOA美術館

- ① 所蔵企画展 「湯女図」と初期風俗画 (3/22～4/24)
- ② 所蔵企画展 美術品で楽しむ和のデザイン (4/26～6/12)
- ③ 所蔵企画展 江戸の四季 —浮世絵にみる歳時とくらし— (6/14～7/23)
- ④ 富士山世界遺産登録推進企画 描かれた富士 —北斎「富嶽三十六景」を中心に— (7/26～8/20)
- ⑤ 所蔵企画展 茶の湯の道具 (8/23～10/2)
- ⑥ 所蔵企画展 「樹下美人図と樹下人物図」(仮称) (10/4～11/13)
- ⑦ 所蔵企画展 日本画の巨匠 —大観・春草・玉堂・栖鳳— (11/15～12/24)
- ⑧ 所蔵企画展 (1月度)
- ⑨ 所蔵企画展 (2月度)
- ⑩ 所蔵企画展 (3月度)

(2) 箱根美術館

- ① 中世古窯を中心とした日本陶磁器展など

2. 賛助会員(友の会)の募集

3. その他

(1) 季刊誌の発行

- ① 財団活動を広く知らせるために「MOA美術館 美の友」誌を発行する。

(2) 美術品や美術品画像データ等の貸出と意匠の許諾など

Ⅱ. 表彰・コンクール事業

1. MOA岡田茂吉賞

優れた作品を制作した芸術家の顕彰と奨励により、日本美術の発展に寄与することを目的とした「MOA岡田茂吉賞」の審査を行い、作家との連携を強める。

(1) 選考方法

- ① 推薦委員が、推薦理由を附して候補作品（過去3ヵ年間の作品または新作）を推薦し、大学その他の研究機関にて研究に従事する専門家で構成する審査委員会の審査により決定する。

(2) 賞の種類と点数

- ① MOA岡田茂吉賞 大賞 1点
- ② MOA美術館賞 1～2点

(3) 表彰

- ① 平成26年6月（予定）に、MOA美術館において表彰式を行い、その時に副賞の授与を行う。

2. MOA美術館児童作品展

子供たちが日頃取り組んでいる創作活動を奨励し、豊かな情操と美への関心を培う事を目的とした表記の全国展を開催し、表彰と展示を行う。併せて、その前に各地で行われる地方展への支援（参加賞の提供など）を行う。

(1) 選考方法

- ① 全国各地において、実行委員会による地方展を開催し、「絵画の部」、「書写の部」の各最優秀作品を決定する。
（昨年実績：全国406会場、応募数452,234点、参加校8,181校。）
- ② 地方展で選ばれた各最優秀作品は、MOA美術館における、文部科学省の教科調査官をはじめ、美術教師、大学教授、書道協会会員等で構成される全国展審査会において、文部科学大臣奨励賞などの各賞を決定する。

(2) 賞の種類と点数

- ① 絵画の部（昨年実績）
 - a) 文部科学大臣奨励賞 6点
 - b) 外務大臣賞 3点
 - c) 厚生労働大臣賞 1点
 - d) 日本PTA全国協議会会長賞 1点
 - e) 全国子供会連合会会長賞 1点
 - f) 農林水産省生産局長賞 1点
 - g) ボーイスカウト日本連盟理事長賞 1点
 - h) 審査員賞 1点
 - i) 金賞から入選 205点
- ② 書写の部（昨年実績）
 - a) 文部科学大臣奨励賞 6点
 - b) 厚生労働大臣賞 1点

- c) 日本PTA全国協議会会長賞 1点
- d) 全国子供会連合会会長賞 1点
- e) 農林水産省生産局長賞 1点
- f) ボーイスカウト日本連盟理事長賞 1点
- g) 審査員賞 1点
- h) 金賞から入選 68点
- ③ 団体の部（昨年実績）
 - a) 文部科学大臣奨励賞学校奨励賞 6校
 - b) 厚生労働大臣団体賞 2点

(3) 表彰ならびに展覧会の開催

平成26年1月、MOA美術館“能楽堂”において表彰式を行うとともに、1月から2月にかけて（約2か月間）、MOA美術館“円形ホール”に於いて「MOA美術館全国児童作品展」を開催する。

Ⅲ. 体験活動等の事業

1. 日本文化の体験

茶の庭や茶室、茶道具等に触れて抹茶を喫する茶の湯を通して、日本文化を体験する事業を、美術館開館日に、MOA美術館の茶の庭内の茶室一白庵及び箱根美術館の茶室真和亭において行うとともに、当館及び外部における茶会などを行う。

(1) 茶会

① 光琳乾山忌茶会（6/2・3）京都平安郷

(2) 夏休み能楽サークル（8/10）

(3) 体験プログラム（お茶、お花など）

Ⅳ. 主催公演・講座・セミナー事業

1. 主催公演

伝統文化等の普及と芸術鑑賞会を通じた情操教育として、能楽堂における定期演能会や獅子舞、野外における薪能、フロアコンサート等の公演を行う。

(1) 定期演能会

① 能「三輪」宝生流 辰巳満次郎、狂言「空腕」大蔵流 山本泰太郎（5/25）

② 能「野守」観世流 浅井文義、狂言「清水」和泉流 野村万歳（12/1）

(2) 薪能（8/1・2）

(3) 獅子舞（1/2・3）

(4) フロアコンサート

- ① 能楽堂コンサート「吉田正記念オーケストラ」(4/21)
- ② 海に見えるロビーコンサート (4/29)
- ③ 能楽堂コンサート「シンフォニエッタ静岡定期演奏会」ハルモニームジークの饗宴 (12/8)

2. 主催講座

(1) 山月・光輪花クラブ

花の美しさを楽しみながら、植物から学び、花をいける体験を大切にして、豊かな情操を育むことを目的に、お花の講座を実施する。

3. 主催セミナー

- (1) 源氏物語文学セミナー (4/23、5/21、6/18、7/23、9/17、10/22、11/19、12/17)

V. 育成事業

青少年の健全な心と体の育成に資するために、学校・家庭・地域社会が広く一体となった、美による情操教育（美育）の一層の普及に努める。

1. スクールプログラム

(1) 紅白梅図レプリカをはじめ美術品を通じた美育の推進

- ① 小中学校へ出張授業の推進
- ② 中学校における美術科授業への教材の提供と開発協力
- ③ 静岡県及び内外における美術教師とのネットワーク構築

(2) 美術品の鑑賞

- ① 小中高生を対象とした展覧会ガイドの開催
- ② 教職員対象のセミナーなど

(3) いけばな・茶の湯の体験コースの実施

- ① 小中高生を対象としたプログラム
- ② 教職員を対象としたプログラム

(4) 中学生の職場体験学習

2. 花による美育活動の推進

3. MOA美術館児童合唱団の充実と体制整備

合唱と美術鑑賞を合わせて楽しむことによって、音楽教育における感性育成を目的とした児童合唱団の活動を行う。

VI. 経営基盤の拡充

1. 経営改善

- (1) 顧客満足循環型経営への改善（職員によるワークショップの充実）
- (2) 観光客の誘致・誘客の改善強化など

- (3) コスト削減と増収に向けた経営改善計画案などの策定
- (4) 寄付金制度（ファンドレイジング）の推進

2. 入館者増加をめざした取り組み

- (1) 広報・営業活動の推進
- (2) 地元市民に開かれた美術館に向けての取り組み
- (3) 無料ゾーン設定に向けた取り組み
- (4) 経産省・観光庁の広域観光圏創出への事業参加

3. MOA美術館友の会の拡大

入館者の増加を図り、加えて美術館活動の財政基盤となる「友の会」の拡大を図る。

4. 施設の貸与事業

茶室（一白庵、真和亭）、能楽堂などを、伝統文化の普及をはじめ当財団の目的に沿った用途に使用する団体・個人への施設の貸出を積極的に行う。

- (1) 光琳茶会（2/22・23）MOA美術館 茶の庭
- (2) 熱海市成人式及び熱海市PTA連合会主催行事（一昨年より能楽堂にて開催）等

5. 美術館設備・施設（庭園を含む）改善・改修

- (1) 改修コンセプトの明確化と実施計画の策定
- (2) 美術館の安全確保に向けた対策
 - ① 施設・設備の安全対策、サービス向上に向けての改善・改修
 - ② 美術館の防災、防犯の設備、危機管理体制の整備、強化
- (3) 美術品保存に伴う展示環境及び展示方法の改善と実施
 - ① 展示の研究と実施
- (4) 上記(1)～(3)を踏まえ、MOA美術館改修に向けての調査・研究を進める
- (5) 植樹をはじめ、庭園の改善に向けた検討

6. 物品販売

- (1) 箱根美術館売店の運営

以 上